

各位

2023年6月14日
太陽ホールディングス株式会社

【太陽インキ製造】 第52回国際電子回路産業展 「JPCA Show 2023」出展レポート

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志、証券コード：4626、以下「太陽ホールディングス」)の子会社である太陽インキ製造株式会社(本社：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：峰岸 昌司、以下「太陽インキ製造」)は、2023年5月31日(水)～6月2日(金)に東京ビッグサイトで開催された第52回国際電子回路産業展「JPCA Show 2023」に出展、3日間で1,000人近くの方が来場しました。



ブーステーマ「70周年 -感謝、そして想像を超える未来を共に-」

■表彰式にて、次世代半導体パッケージ向け製品が第19回JPCA賞（アワード）を受賞

初日にはJPCAアワード表彰式が執り行われ、次世代半導体パッケージの再配線層（RDL）に適した新しい感光性絶縁フィルム「低ロス感光性層間絶縁フィルム」に関し、一般社団法人日本電子回路工業会より、第19回JPCA賞（アワード）を受賞しました。太陽インキ製造によるJPCA賞の受賞は、昨年に続き4回目の受賞となります。

◀受賞理由▶

再配線層用絶縁材基準を満足する感光性フィルムが開発され、詳細な検討結果が記された製品の報告であり、完成度の高い論文であることが評価されました。

◀受賞製品について▶

https://www.taiyo-hd.co.jp/cms/wp-content/uploads/2023/05/20230529_02.pdf



◀受賞者▶
太陽インキ製造 ビジネスディベロップメント部 技術課

■「宇宙を拓く民間技術」をテーマに、宇宙飛行士の毛利衛氏による特別講演会を開催

最終日には太陽ホールディングス設立70周年を記念し、約40名の取引先関係者を招待した特別講演会を開催しました。身近な電子機器をはじめ、宇宙産業の発展にまで貢献してきた当社グループの“無限の可能性”を体現したブースであることを踏まえ、宇宙産業をリードし“無限の可能性”に挑戦してきた、宇宙飛行士の毛利衛氏を招聘しました。「宇宙を拓く民間技術」をテーマに講演いただきました。



■ 史上初、ブースコンテストで「ナイスデザイン賞」「ベスト展示賞」をダブル受賞

会期初日、2日目の来場者の投票で優れたブースを選出するブースコンテストにおいて、太陽インキ製造のブースが「ナイスデザイン賞」「ベスト展示賞」を受賞しました。ダブル受賞はコンテスト史上初の快挙で、太陽インキ製造としては初めての受賞となりました。

「ナイスデザイン賞」はブース装飾のデザインが対象で、「ベスト展示賞」は展示内容の分かりやすさ・見やすさを対象としています。本コンテストは2021年から開催しており、本年は共同出展社含め516社の中から選出されました。



〈受賞者〉
右：太陽ホールディングス 執行役員
最高ブランディング責任者 吉野由季子

JPCA賞（アワード）概要

参加企業の中から、応募のあった発表内容の『独創性（独自性・オリジナリティ）』、『産業界での発展性・将来性』、『信頼性』、『時世の適合性』を審査基準として、学术界、電子回路業界、専門誌編集者等有識者の方々に構成するJPCA 賞（アワード）選考委員会によって厳正な審議を行い、電子回路技術及び産業の進歩発展に顕著な製品・技術への表彰制度として2005年より実施しています。

https://www.jpccashow.com/show2023/jp/event/jpca_award.html